

# 経営比較分析表

佐賀県 武雄市

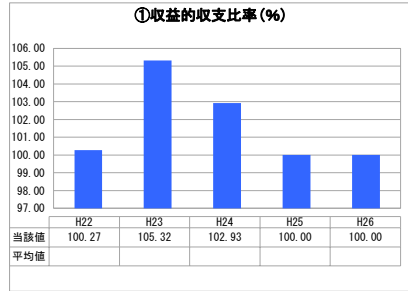
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	62.09	100.00	4,104

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
50,359	195.40	257.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,054	187.53	165.59

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



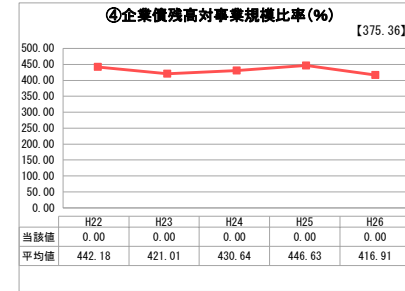
「単年度の収支」



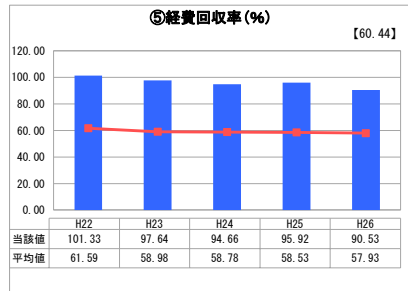
「累積欠損」



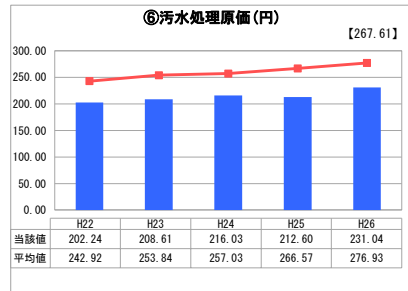
「支払能力」



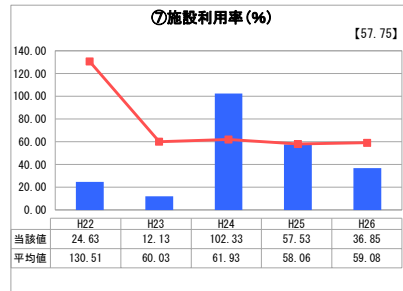
「債務残高」



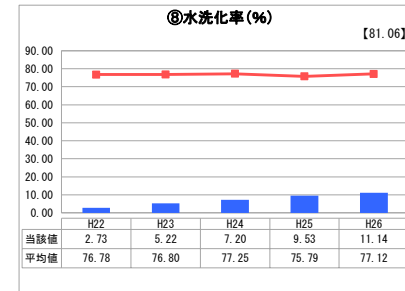
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

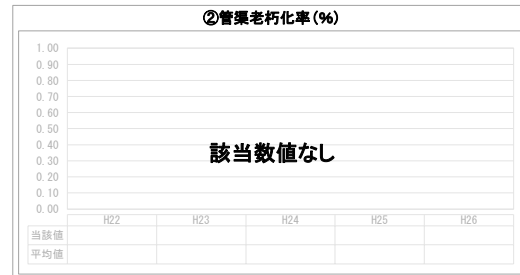


「使用料対象の捕捉」

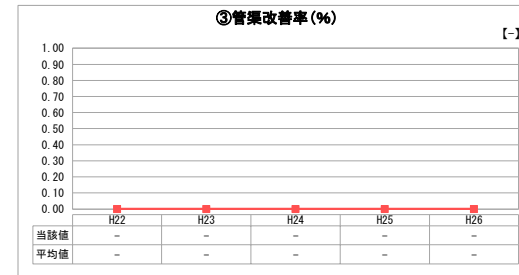
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%のため黒字であり、良好な状況にある。  
しかし、経費回収率が平成23年度から100%を下回っているため、現在は維持管理費用を使用料だけでは賄えていない状況である。今後は維持管理費の見直し等を視野に入れつつ改善を考えなくてはならない。

### 2. 老朽化の状況について

当市の特定地域生活排水処理事業は平成21年度から開始しており、浄化槽本体の耐用年数は約30年となっていることから、まだ老朽化には至っていない。  
ただし、プロア等の付属設備に関しては事業開始から6年を経過し、故障等の発生が増加していることから、順次修繕等に対応している。

### 全体総括

当市では、平成26年度末で1150基の維持管理を行っており、経費回収率は90.5%と、類似団体と比較し高い水準を保っているが、100%を達成すべく事業を工夫しなくてはならないと考える。  
今後、水洗化率を上げるため、下水道事業の普及にさらに力を入れるとともに、維持管理費を見直しも行っていかなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。